

災害時の防災情報ガイド

情報の収集方法

災害時に必要となる情報は、その災害の種類に応じて様々なものがあります。テレビやラジオで放送される災害に関する一般的な情報を確認するほか、次のようなツールを使って、いち早く情報を入手しましょう。

ホームページ 横浜市の防災に関するあらゆる情報が確認できます

■ 横浜市webサイト

災害時の緊急情報や、日頃の備えである自助・共助・公助の取組について掲載しています。



横浜市webサイト(防災・災害)

横浜市 防災・災害

検索



避難指示の状況や避難所の開設状況を掲載しています。

横浜市 防災情報ポータル

横浜市 防災情報ポータル

検索



メール 避難情報などをいち早くお届けします

■ 横浜市防災情報Eメール

避難指示や津波警報の発表などの防災緊急情報を携帯電話・パソコン向けにEメールで配信するサービスを行っています。下記QRコードやメールアドレスへ空メールを送信してください。登録案内メールが届きます。

横浜市防災情報Eメール

bousai-yokohama@cousmail-entry.cous.jp

横浜市 防災情報Eメール

検索



■ 緊急速報メール

横浜市内のエリアにある携帯電話(NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンクモバイル、ワイモバイル、楽天モバイル)に対し、横浜市の災害情報や避難情報などを配信します。こちらは、登録が不要です。*対応機種などの詳細については、各社webページまたは窓口等でご確認ください。

アプリ 自分に必要な防災情報を必要な時に確認することができます!

■ 横浜市避難ナビ

マイタイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができます。

横浜市防災ナビ

横浜市避難ナビ

検索



■ Yahoo!防災速報

スマートフォンから利用できるアプリをダウンロードすることで、横浜市からの防災緊急情報を受信できます。

Yahoo!防災速報

Yahoo!防災速報

検索



■ NHKニュース・防災アプリ

スマートフォンから利用できるアプリをダウンロードすることで、災害・避難情報やマップ上で雨雲や台風、河川情報を確認することができます。

NHKニュース・防災アプリ

NHKニュース・防災アプリ

検索



ツイッター 避難情報などをいち早く発信しています

■ 横浜市総務局危機管理室の公式アカウント

市内で広域的な災害が予測される場合の避難等に関する情報や、災害対策本部体制下における災害等に関する情報、特別警報、警報、一部の注意報の発令解除情報を発信します。

アカウント

@yokohama_saigai



防災スピーカー 屋外放送で緊急情報をお伝えします

区役所や地域防災拠点である小中学校などにJアラートの緊急情報などを放送する「防災スピーカー」を計190か所に設置しています。また、沿岸部に設置している津波警報伝達システムの屋外スピーカーからは、防災スピーカーと同様に、Jアラートの緊急情報などを放送します。

家族の安否確認

大地震発生時、家族の安否などの情報はいち早く入手したいものです。地震等の災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合には、遠方の親戚の連絡先を家族で共有しておき、災害時に全員でその親戚に連絡する方法のほか、以下のサービスなどもあります。

災害用伝言ダイヤル(NTT東日本)

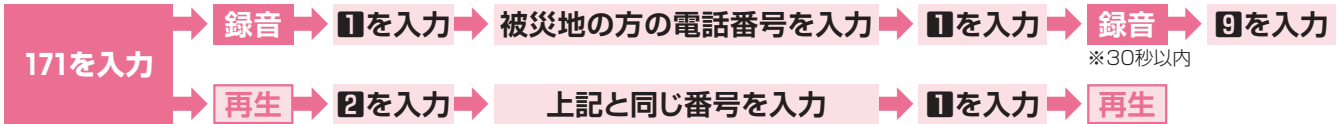
災害用伝言ダイヤル

検索



● 家族の安否を確認する～災害用伝言ダイヤル～

災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。



※平成24年8月から、スマートフォンへの対応や伝言登録機能を追加した「災害用伝言板(web171)」の提供も行っています。

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)を体験できる「体験利用日」があります。家族・親戚・友人間で体験してみましょう。

● 携帯電話回線やインターネット回線を使った連絡

Twitter(ツイッター)やLINE(ライン)といった、災害時に比較的つながりやすい連絡手段で、メッセージのやりとりや通話することも有効です。

情報の種類と内容

災害時に発信される代表的な情報について、災害の種別ごとにまとめています。情報の概要とともに、そのときにとる行動について学びましょう。

■ 地震に関する情報 出典:気象庁HP

種類	概要	市民等の行動など
緊急地震速報	震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。 ※緊急地震速報が、強い揺れの到達に間に合わない場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる。扉を開けて避難路を確保する。 屋外にいる場合、あわてずに施設係員の指示に従う。 その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。つり下がっている照明などの下から待避する。 エレベーターにいる場合、最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。 ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。 落石や崖崩れに注意し、できるだけ危険な場所から離れる。
震度速報	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名と地震の揺れの検知時刻が発表されます。	<ul style="list-style-type: none"> 被害状況、交通情報、家族の安否などの情報を収集する。 駅や繁華街は混乱する可能性があるため、職場や学校など安全な場所にとどまり、時間をずらして帰宅する。
震源に関する情報	震度3以上の地震が発生した場合、震源(地震の発生場所)や地震の規模(マグニチュード)が発表されます。	

■ 津波に関する情報 出典:気象庁HP

気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分以内を目標に津波警報等を発表します。

種類	概要	市民等の行動など	発表される津波の高さ	
			数値表現	定性的表現
特別警報 大津波警報	大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。 【発表基準】予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や津波避難施設など安全な場所へ避難する。 警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	10m超 10m 5m	巨大
警報 津波警報	津波による被害が発生します。 【発表基準】予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や津波避難施設など安全な場所へ避難する。 警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	3m	高い
注意報 津波注意報	海の中や海岸付近は危険です。潮の流れが速い状態が続きます。 【発表基準】予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。 注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにする。	1m	—

■ 主な気象注意報、気象警報に関する情報 出典:気象庁HP

種類	概要
大雨注意報	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。雨が止んでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
洪水注意報	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。対象となる洪水災害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられます。
大雨警報	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報(土砂災害)」、「大雨警報(浸水害)」又は「大雨警報(土砂災害、浸水害)」のように発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
洪水警報	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。対象となる重大な洪水災害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられます。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」のように発表されます。

■ 気象に関する情報 出典:気象庁HP

種類	概要	市民等の行動など
土砂災害警戒情報	大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、大雨による土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに発表される情報です。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、ラジオ、ホームページで情報を収集する。 周囲の状況や雨の降り方に注意する。 警戒対象区域の住民は、早めの避難を心がけるとともに、避難指示の情報にも注意する。
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を記録したときに発表されます。現在の降雨がその地域にとってまれな激しい状況であることを意味しています。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、ラジオ、気象庁ホームページ、横浜市防災情報等で情報を収集する。 崖や川の近くなど、危険な場所にいる場合(土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害が想定される区域にいる場合)は、避難情報を確認し、発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとる。周りの状況を確認し、避難場所への避難がかえって危険な場合は、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する。
顕著な大雨に関する情報	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けているときに発表されます。	
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風が発生しやすい気象状況になったと判断された場合に発表されます。	<ul style="list-style-type: none"> 空の変化に注意する。 竜巻発生確度ナウキャストや気象レーダー画像にアクセスできる環境であれば、自分が今いる場所の状況についてこまめに確認する。

■ 河川に関する情報 出典:気象庁HP

● 洪水予報

流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生じるおそれがある河川について、洪水予報を行います。横浜域に影響を及ぼすものとしては、鶴見川及び多摩川が該当します(洪水予報河川)。

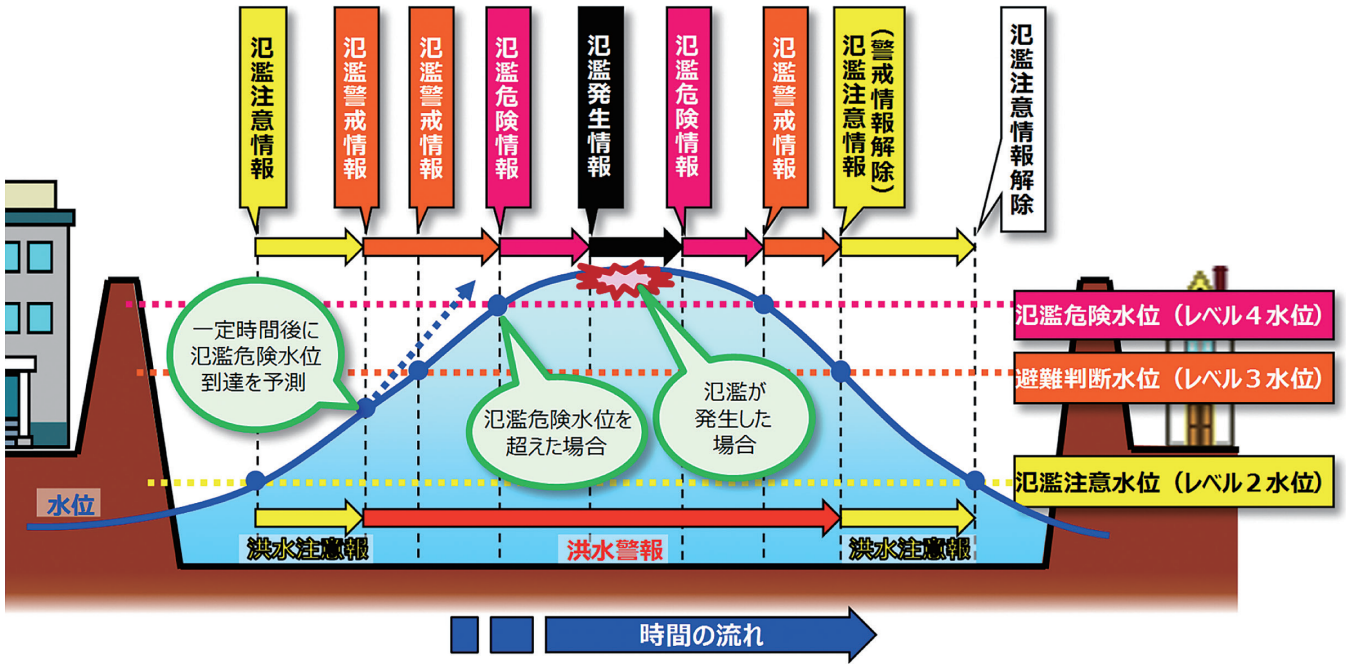
国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所のホームページで、河川監視用カメラ映像を閲覧できます。

京浜河川事務所 リアルタイム情報

河川監視用カメラ 多摩川・鶴見川 検索



種類	概要	市民等の行動など
〇〇川氾濫発生情報(洪水警報)	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。	命を守るための最善の行動をとる。
〇〇川氾濫危険情報(洪水警報)	自治体が避難指示を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。	避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくても自ら避難の判断をする。
〇〇川氾濫警戒情報(洪水警報)	自治体が高齢者等避難を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。	災害が想定されている区域等では、高齢者等避難の発令に留意するとともに、高齢者等の方は自ら避難の判断をする。
〇〇川氾濫注意情報(洪水注意報)	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当します。	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認する。



● 水位情報

横浜市内を流れる河川は、その水を集める面積である流域面積に対して河川断面が小さい河川も多く、局所的な雨でも水位が急激に上昇しやすい傾向があります。また、現地では雨が降っていないくても、河川の水位が上昇するおそれがあります。

横浜市では市外を含む、河川の水位情報や河川カメラ画像を「横浜市水防災情報」のページにて発信しています。こまめに情報を確認し、迅速な避難行動にご活用ください。

■ 横浜市が発令する情報 (※1)

種類	市民等の行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)(※2)
警戒レベル3 (高齢者等避難)	<ul style="list-style-type: none"> 避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児等)とその支援者は避難をする。 その他の人は、避難の準備をする。 	<警戒レベル3相当情報> 氾濫警戒情報 大雨・洪水警報
警戒レベル4 (避難指示)	<ul style="list-style-type: none"> 速やかに避難先へ避難する。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。 	<警戒レベル4相当情報> 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル5 (緊急安全確保)(※3)	<ul style="list-style-type: none"> 命を守るための最善の行動をとる。 	<警戒レベル5相当情報> 氾濫発生情報 大雨特別警報

※1:各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
 ※2:警戒レベル相当情報…国や都道府県が発表する指定河川洪水予報、大雨警報、土砂災害警戒情報等については、住民が自主的に避難行動をとるために参考とするため、「警戒レベル相当情報」として提供されます。
 ※3:緊急安全確保…災害が実際に発生している、または発生する可能性が高いことを把握した場合に、可能な範囲で発令します。